

卒業式・入学式「お祝いの言葉」の構成内容について

1. 現状と課題

(1) 昨年度の教育委員からの意見

- 「お祝いの言葉」の内容を2回の教育委員会で決定するには時間が短すぎる。
- 「お祝いの言葉」に何を盛り込むべきなのか、どのようなスタイルで行うのかなど、令和5年までに時間をかけて検討する必要がある。
- これまで1,2月に協議をしているが、もっと早い時期から検討を始めてもらいたい。
- 少人数でもいいから全文じっくり読んで欲しいのか、できるだけ多くの人に趣旨だけでも伝えたいのか、それにより内容が違ってくる。令和4年は後者だと思うので、できるだけ見やすい表記、簡潔な内容が求められる。
- 「お祝いの言葉」を「立川市教育委員会からのお祝いのメッセージ」としてはどうか。
- 例話とは、何かを分かりやすく伝えるために使うもの。スピーチでは効果的だが、文章では長くなるので不要なのではないか。伝えたいことだけ表記すればよい。
- ダイバーシティ&インクルージョンの時代なので、「自分(あなた)らしく」という言葉を入れる。
- 「お祝いの言葉といたします」は、スピーチではないので不要ではないか。

(2) 過去5か年の内容

別紙参照

2. 校内掲示及び配布方法

- (1) 校内掲示方法 多当紙に印刷(昨年度と同様)
- (2) 配布方法 A4 色上質紙(さくら色)に印刷

3. お祝いの言葉の構成内容

- (1) 文字数 卒業式 600～700字程度、入学式 500～600字程度
- (2) 対象者 児童・生徒及び保護者
- (3) 例話の有無 文字数を減らしていることから無しとする
- (4) 内容
 - ①卒業 立川市立学校で学び、地域に根差した学習を終えて巣立っていく子どもたちへ向けたメッセージ
 - ②入学 立川市立学校で地域に根差した学校生活を過ごす子どもたちへ向けたメッセージ
- (5) タイトル 「立川市教育委員会 お祝いの言葉」
- (6) その他 構成内容を決定したのち、令和5年1～2月の教育委員会で、文面の協議を行う

卒業式・入学式「お祝いの言葉」の構成内容一覧

		参加形式	文字数	対象者	例話	その他
平成30年	小学校卒業式	壇上 読上げ	1,200	児童・保護者 教職員・地域	玉川兄弟	
	中学校卒業式		1,150	生徒・保護者 教職員・地域	高村 光太郎	中学生サミット・市民科
	小学校入学式		911	児童・保護者 教職員		三つのお願い・四季・学 習指導要領
	中学校入学式		888	生徒・保護者 教職員	多摩川	
平成31年	小学校卒業式	壇上 読上げ	1,301	児童・保護者 教職員・地域	中央線開通130 年	市民科
	中学校卒業式		1,186	生徒・保護者 教職員・地域	本庶 佑	市民科
	小学校入学式		922	児童・保護者 教職員		三つのお願い・元号変 更・市民科
	中学校入学式		952	生徒・保護者 教職員・地域	はやぶさ	市民科
令和2年	小学校卒業式	掲示	1,185	児童・保護者 教職員・地域	山下 洋輔	市民科
	中学校卒業式		1,259	生徒・保護者 教職員・地域	郷学校創設	
	小学校入学式		628	児童・保護者 教職員		元気な挨拶
	中学校入学式		914	生徒・保護者 教職員・地域		コロナ禍・市民科
令和3年	小学校卒業式	掲示	1,312	児童・保護者 教職員・地域	国枝 慎吾	市民科
	中学校卒業式		1,191	生徒・保護者 教職員・地域	はやぶさ2	コロナ禍
	小学校入学式		635	児童・保護者 教職員		元気な挨拶
	中学校入学式		959	生徒・保護者 教職員・地域		コロナ禍・市民科
令和4年	小学校卒業式	掲示	635	児童 保護者	上野 由岐子	
	中学校卒業式		744	生徒 保護者	真鍋 淑郎	
	小学校入学式		401	児童 保護者		元気な挨拶
	中学校入学式		583	生徒 保護者		市民科

お祝いの言葉

令和四年・小学校卒業式

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。卒業証書を受け取った皆さんの心には、六年間の思い出があふれていることでしょう。

新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制約がある中でも、仲間と力を合わせて過ごしてきたかけがえのない日々、自信をもって卒業してください。

これまで保護者や先生だけでなく、色々な方が皆さんの学校生活を支えてくれました。感謝の気持ちを忘れずに、これからの毎日をよりよい日々にしていってください。

二〇二一年の夏は、オリンピック・パラリンピックが東京で開催され、十三年ぶりに競技に復活した女子ソフトボールは二連覇を達成しました。決勝戦の先発投手は十三年前と同じ上野由岐子選手でした。

途中交代となった上野投手は、ベンチで「今日投げられる最高のボール」を必死に考えていたそうです。再登板したあとは、打者を完璧に抑え、二度目の金メダルを獲得しました。金メダルの裏には、十三年間の努力と探究心、向上心がありました。

4月から中学生になる皆さん。どのような状況でも、上野選手のように、自分を信じ、あなたらしく前に進んでいってください。そして、友達や周りの人を大切にし、私たちのまち立川に愛着と誇りを持って、社会で生き抜く力を培っていくことを期待しています。

保護者の皆様、お子様が御卒業を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。この6年間、学校と共に歩んでいただきましたことに感謝申し上げます、お祝いの言葉いたします。

令和四年三月二十五日

立川市教育委員会

お祝いの言葉

令和四年・中学校卒業式

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育における全課程を修了されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

皆さんは、新型コロナウイルス感染症の予防を常に心がけ、日常生活の様々な場面に応じた工夫を行いながら、新しい日常を築き上げてきました。授業や行事、校外学習や部活動など、学校生活のほとんどを新しいスタイルに移行させながら、最高学年として、下級生とともに、学校を引っ張ってきくれました。時には立ち止まり悩み、それでもあきらめずに努力し、仲間や人と人とのつながりを大切にしてお過ごしこの3年間に、どうぞ自信と誇りを持ち、胸を張って卒業してください。

さて、アメリカ合衆国にあるプリンストン大学の上席研究員をされている真鍋まなべ 淑郎しゅくろうさんが二〇二一年のノーベル物理学賞を受賞されました。受賞の理由は、地球の気候と地球温暖化の予測に関する物理モデルへの貢献です。

真鍋氏は、日本の若者に「地球温暖化の問題がこんなに大きくなるとは夢にも思っていなかった。自分が好奇心をもつような研究をやるのが大切だ」とエールを贈っています。これからの進路の中で自分なりに興味関心があることを掘り下げて探求してってください。

本校で学んだ日々、この地域で学んだ日々に誇りをもち、保護者や先生をはじめとする支えてくださった多くの方々への感謝の気持ちを忘れずに、よりよい社会づくりに向け、主体的な担い手となることを期待しています。どうぞ自分を信じ、あなたらしく前進してってください。

保護者の皆様、お子様にご卒業を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。この3年間、学校と共に歩んでいただきましたことに感謝申し上げます。お祝いの言葉といたします。

令和四年三月十八日

お祝いの言葉

令和四年・小学校入学式

一年生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
今日から小学生です。

この学校にはみなさんの味方がたくさんいます。
安心して学校に来て下さい。そして、わからないこと
や困ったことがあったら、先生やお兄さん、お姉さん
たちに聞いてください。きっと優しく助けてくれます。
学校の外にも一年生のことを応援してくれる人が
います。「おはようございます」や「さようなら」な
ど、元気なあいさつができる小学生になってください。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上
げます。

子どもたちは次代を担うかけがえのない存在であり、
社会を築く市民です。保護者・地域の皆様、学校、その
他多くの関係者が連携し、「生きる力をはぐくみ、確かな
力、優しい心、個を輝かせ、社会のために役立つとす
るひとづくり」の実現に向けて、学校と共に歩んでいた
だきますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたしま
す。

令和四年四月六日

立川市教育委員会

お祝いの言葉

令和四年・中学校入学式

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

今日から始まる中学生としての三年間は、ものの見方や考え方の広がる大切な時期です。自分で目標を定めて学習や運動に取り組み、学ぶことの楽しさや厳しさを体験しながら、確かな力を身に付けていってください。

さて、小学校では仲間と共に学ぶ大切さを学んできたと思います。そして、たとえ困難なことがあっても、思うようにいかないことを受け止めたり、物事を前向きに捉え直したりして一歩一歩進んできたことと思います。このような経験が、皆さんをきつと支えてくれます。

これから始まる中学校生活には、素敵な経験が待っています。教科の学習や委員会活動、部活動などをきっかけに、生涯をかけて追究できることに出会えるかもしれません。自分たちでつくりあげる行事、立川市民科の学習活動を通して身に付ける学び方や人との関わり方などが、やがて地域や世の中の課題解決に生かせるようになるかもしれません。この三年間は、皆さんの可能性をさらに大きく広げる機会ととらえて力を合わせて様々なことにチャレンジしてください。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。ご家庭におかれましては、子どもたちの健やかな成長に向け、学校と共に歩んでいただきますようお願い申し上げます、お祝いの言葉といたします。

令和四年四月七日

立川市教育委員会

告 辞

令和三年・小学校卒業式

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

卒業証書を受け取った皆さんの心には、6年間の出来事が思い起こされていることでしょう。友達との話し合い、委員会活動やクラブ活動など、皆さんは多くの人との関わりの中で、自ら学ぶ力や、相手を思いやる心、スポーツに親しむ意欲と体力を身に付けてきました。

6年生の1年間は、新型コロナウイルス感染症の影響によって、移動教室などの行事が中止となり、給食の時間は前を向いて静かに食べるなどたくさんのご不便を我慢しましたが、その一方で、タブレットPCを活用した新しい授業など、新たなチャレンジが始まった年となりました。皆さんは、その1年間を最高学年として過ごしてきました。感染予防を心掛けながら、学校のリーダーとして行動し学び続け、成長してきた皆さんは立派です。どうぞ自信と誇りを持ち、胸を張って卒業してください。

その一日一日を支えてくださったのは、先生方をはじめ、職員や地域の方々、そして今日、この卒業の日を、誰よりも喜んでくださっている保護者の皆さまです。皆さんの成長を見守り、励まし続けてくれたことを忘れずにいてください。「ありがとうございます」という感謝の気持ちをもって、これからの毎日をよりよい日々にしていくってください。

さて、皆さんは、世界大会の優勝回数28回、パラリンピックでは連覇を含めた3つの金メダルを獲得した日本人アスリートがいることを知っていますか。

それは車いすテニス選手の国枝慎吾さんです。

国枝選手は、9歳の頃、脊髄腫瘍により半身麻痺となり、車いす

生活を送ることとなりました。その2年後、11歳の頃、お母さんの勧めで車いすテニスと出会いました。しかし、最初から世界を舞台に大活躍…、とはいかなかったようです。

それにもかかわらず、国枝選手は「自分をどうにか変えたい」という思いで挑戦を続け、このような素晴らしい記録を残しました。

皆さんもいずれ大人になり、様々なことに挑戦し、地球のどこか、中には宇宙で活躍する人もいるかもしれません。どこであつても、国枝選手のように、自分の可能性を信じて、ねばり強く生きる人に成長してほしいと願っています。地域や人と人とのつながりの大切さを学んだ「立川市民科」をはじめ、小学校で学んだこと、全てが将来の皆さんの力になります。

4月から、中学生になる皆さん。今、世界は、大きな変化の中にあります。そのような時だからこそ、「挑戦する勇氣」「あきらめない勇氣」を大切にしてください。そして、友達や周りの人を大切にすることを常に心に留め、社会で生き抜く力を培っていくことを期待しています。

保護者の皆様、本日、お子様が晴れの卒業の日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。この6年間、お子様を温かく見守り、支えていただきました。そして、学校とともに歩んでいたいただきましたことに感謝申し上げます。今後も引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして本校のために、様々な方面から御支援、御協力いただきました地域の皆様方に感謝を申し上げます、告辞いたします。

令和三年三月二十五日

立川市教育委員会

告 辞

令和三年・中学校卒業式

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。九年間の義務教育の全課程を修了されましたこと、心よりお祝い申し上げます。

皆さんが、3年生になった今年度は、新型コロナウイルス感染症により、当たり前であった学校生活を変えることを余儀なくされました。卒業式や入学式も形を変え、多くの授業や行事・部活動など学校生活のほとんどが新しいスタイルに移行せざるを得ませんでした。それでも、皆さんは最高学年として、学校の中心として、先生方とともに学校を引っ張ってきてくれました。

思い出してみてください。休校期間が明けて登校した時のクラスの様子、友達的笑顔はこれまでにない程、輝いて見えたことでしょうか。仲間や人と人のつながりの大切さを心から実感し、仲間と一緒に歩んでいこうと思えたのではないのでしょうか。

さて、皆さんはJAXA宇宙科学研究所の小惑星探査機の「はやぶさ2」を知っていますか。「はやぶさ2」は、初代「はやぶさ」で経験したエンジントラブルなど、あらゆる困難を想定して設計され、昨年12月、小惑星リュウグウから多くの土や石などを採取し、それらが入ったカプセルを、宇宙からオーストラリアの砂漠に落下させることに成功しました。そして現在は、別の天体の探査へ向かう10年の拡張ミッションへと旅立っています。この小惑星リュウグウから採取した土や石は、太陽系の成り立ちなどを解明する手がかりとなるなど、大変重要な意義をもたらすといわれ

ています。

コロナ禍で様々な制約があったにもかかわらず、プロジェクトメンバーが協力して成し遂げた「はやぶさ2」のミッションは、困難なことに対しても、あきらめずに努力し続けることの大切さを教えてくれました。皆さんが、この一年間取り組み続けた努力も、きつと未来につながる確かな一歩となるでしょう。

義務教育を終え、新たな世界に飛び立つ皆さんの心の中には、希望とともに、不安な気持ちもあると思います。しかし、皆さんが身につけてきた、自ら学ぼうとする意欲やチャレンジ精神、仲間との絆は、夢へと進む心の糧となつて皆さんを支えてくれるはずです。本校で学んだ日々には、地域で学んだ日々には、誇りをもって羽ばたいていってほしいと思います。そして、主体的な担い手として、よりよい社会づくりに向けて活躍されることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に修了し、卒業証書を手にしたお子様をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。誠におめでとうございます。今後もお力添え賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、これまで熱心にご指導いただきました校長先生はじめ教職員の皆様、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げますとともに、改めて卒業生の皆さんの前途を祝して告辞いたします。

令和三年三月十九日

立川市教育委員会

告辞

令和三年・小学校入学式

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今日から小学生です。小学校では勉強や運動をしたり、休み時間に友達と遊んだり、楽しいことがたくさんあります。もしも困ったことや分からないことがあったら、先生方やお兄さん、お姉さんたちに聞いてください。きっと優しく教えてくれます。

また、皆さんの登下校の安全を見守ってくださる方々や学校の勉強をお手伝いして下さる地域の方々など、先生以外にも学校のために働いてくださる方がたくさんいます。

皆さんの楽しい学校生活の応援団です。そんな地域の方々に、「ありがとうございます」の気持ちを含めて、大きな声で、元気に挨拶ができる小学生になってください。みなさんの元気な挨拶で学校や地域全体がもっともっと明るく元気になります。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

子どもたちは次代を担うかけがえのない存在であり、我がまち立川の未来を築く市民であり宝です。保護者の皆様をはじめ、地域の多くの方々と学校が連携し、「生きる力をはぐくみ、確かな力、やさしい心、個を輝かせ、社会のために役立とうとするひとづくり」を実現することができるよう、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、子どもたち一人一人が、新型コロナウイルスに気をつけながらも充実した学校生活を送れるよう、温かくご指導くださいますことをお願い申し上げます、告辞いたします。

令和三年四月六日

立川市教育委員会

告 辞

令和三年・中学校入学式

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうござい
ます。

皆さんは、今日から始まる中学校生活に、期待と希望
で胸を膨らませていることと思います。

中学校の三年間は、新しい知識や技能を身に付け、豊
かな人間性が育つ大切な時期です。

自分の目標をしっかりと持ち、進んで学習や運動に取
り組み、学ぶことの厳しさや楽しさを体験して、確かな
力を付けていってください。

今、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るって
います。しかし、私たち人類はウイルスには負けません。
皆さんの小学校生活最後の一年間は、感染症対策のため
に移動教室などの行事が中止になったり、友だちとの距
離を気にかけたりするなど、学校生活が大きく変わら
ました。そのような中で寂しさや不安を乗り越え、入学式
を迎えています。今、皆さんが経験していることは、家
族や仲間を大切にし、自分自身も大切にするという、思
いやりと共感の心につながっています。この経験を通し
て、どんな困難な状況の中でも、人と人が支え合い、助
け合えば乗り越えられるという希望をもって、自ら学び
に向かっていってほしいと思います。

また、皆さんはこれからの中学校生活で、初めてのこ

とや難しいことに何度となく挑戦することになるでしょう。そのときは、周りにいる友達と互いに助け合い、知恵を出し合い、前進していただく。そして皆さんが、小学校の立川市民科で学んだことを地域貢献活動などで実践し、地域のリーダーとして、さらにたくましく成長し、活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、子どもたちの、ものの見方や考え方が広がる時期です。特に、心の発達の著しい時期であるだけに、迷ったり悩んだりする時期でもあります。

ご家庭におかれましても、お子様の願いや思いを受け止め、よりよい生活習慣が築かれるように、導いていただきたいと思えます。そして、子どもたちの健やかな成長のため、学校教育へのご理解とご協力を、お願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ教職員の皆様、地域の皆様におかれましては、子どもたちへ深い愛情を寄せられ、学校と地域が一体となって、よりよい校風を築いていかれますようお願い申し上げます、告辞いたします。

令和三年四月七日

立川市教育委員会